

6月に入りました。思えば昨年度は、この時期から一学期が本格的にスタートしたのですね。本当に異例で、特殊な年だったんだなあ、とつくづく思います。

緊急事態宣言が延長され、まだまだ制約のある教育活動下ではありますが、端末の活用を含め、引き続き、日々のご指導をお願いいたします。

★一次訪問にて

5月下旬より、各校への一次訪問がスタートしました。お忙しい中のご対応、本当にありがとうございます。

訪問をさせていただく中で、幾度となく、子供たちが自然に端末を活用している場面に遭遇しました。併せて先生方からは、「子供たちってあっという間に使いこなすんです」「子供ってすごいです」などの感想をいただいております。

子供たちが端末を使いこなすにつれ、当然、様々な問題も生じてくることと思いますが、市教委としましても、学校と連携して対応にあたっていきたいと思います。

各校を訪問する中で、「端末を使用しない時は、端末を机の上に置かない」などの端末使用の約束が徹底されていることを実感しています。また、授業において、端末を使用するポイントを絞るなど、ノート使用と併用して活用しようとする場面も見られました。

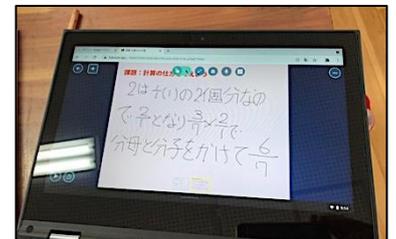
★各校より～中央小学校、湖畔小学校の活用事例～

まずは中央小学校の活用事例の紹介です。

6年生の算数科「分数のかけ算」の学習では、「計算の仕方を考えよう」の課題のもと、児童が自身の考えをロイロノートの付箋に書き表し、教師に提出しました。児童の考えを集約した教師は、その付箋をもとに発言を促したり、比較したりして授業を展開していき

ました。
※個人思考を終えた子供は、タブレットをもとに、近くの友達と自然に交流する姿が見られた模様です。

また、2年生活科の学習では、自分が撮影した写真の中からお気に入りを選び、写真にコメントを手書きしていきました。



湖畔小学校の1年生は、クロームブックを活用して、タブレットドリル、ロイロノート、クラスルームや Meet など、様々なことに取り組んでいます。QR コードでのログインにもあっという間に慣れ、朝から自主的に使用する姿が見られるようです。

また、湖畔小学校では、帰りの会を終えた5年生が、毎日1年生の教室に来て、充電庫のアダプタをつないでくれるなど、5年生が1年生の充電係を担ってくれています。

「GIGA 通信」では、引き続き、各校の活用事例を紹介していきます。活用の様子についての写真等を提供いただける場合は、教育支援課 学校指導担当宛、ご連絡ください！